

# 令和5年度 社会福祉法人啓和会 事業報告

## I 法人本部

### 1. 実施事業

別紙1 運営施設一覧のとおり

### 2. 事業計画

#### (1) 役員会の開催

令和6年3月31日現在

日 時	審議事項・目的事項	場 所	出席状況
令和5年5月15日 (月) 監事監査	1 令和4年度 事業報告、理事の業務執行状況、財産状況	久喜けいわ	監事 2/2
令和5年5月23日 (火) 第123回理事会	議 題 1 令和4年4月1日から令和5年3月31日 までの事業報告の承認の件 2 令和4年度第2回補正予算(案)の承認の 件 3 令和4年4月1日から令和5年3月31日 までの計算書類及び財産目録の承認の件 4 理事候補者8名の選出の件 5 監事候補者2名の選出の件 6 評議員候補者1名の選出の件 7 第3回評議員選任・解任委員会の招集の決 定の件 8 第76回評議員会の招集の決定の件	久喜けいわ	理事 9/9 監事 2/2
令和5年6月23日 (金) 第76回評議員会	報告事項 1 令和4年4月1日から令和5年3月31日ま での事業報告の内容報告の件 2 監督官庁が実施した検査又は調査結果の件 決議事項 1 令和4年4月1日から令和5年3月31日 までの計算書類及び財産目録の承認の件 2 理事8名の選任の件 3 監事2名の選任の件	久喜けいわ	評議員 10/10 監事 2/2
令和5年6月23日 (金) 第124回理事会	報告事項 1 令和5年6月開催定時評議員会の審議結果 について 2 社会福祉法人啓和会評議員の選任について 議 題 1 理事長及び常務理事の選定の件		理事 8/8 監事 2/2

	2 監事の責任限定契約の締結の件		
令和 5 年 11 月 14 日 (火) 第 125 回理事会	議 題 1 久喜けいわ建替え・改修工事基本プラン検討等業務契約の承認の件 2 令和 5 年度第 1 回補正予算（案）の承認の件 報告事項 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告の件 2 監督官庁が実施した検査又は調査結果の件	久喜けいわ	理事 8/8 監事 1/2
令和 6 年 3 月 28 日 (木) 第 126 回理事会	議 題 1 幹部職員人事の承認の件 2 久喜けいわ給食業務委託契約内容の変更の承認の件 3 久喜市いちょうの木給食業務委託契約内容の変更の承認の件 4 令和 5 年度第 2 回補正予算（案）の承認の件 5 令和 6 年度事業計画（案）の承認の件 6 令和 6 年度収支予算（案）の承認の件 7 職員就業規則の一部改正の件 8 虐待防止委員会規程の一部改正の件 9 グループホーム清久運営規程の一部改正の件 10 役員賠償責任保険の更改契約の承認の件 報告事項 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告の件 2 監督官庁が実施した検査又は調査結果の件	久喜けいわ	理事 8/8 監事 2/2

## （２）経営財源の確保

ア 幹部会議等で各事業所の利用率と収支状況を定期的に確認した。利用率の推移は下表のとおり。令和 4 年度との比較では、久喜けいわの就労移行事業およびグループホーム清久の短期入所事業が低下したが、ほかは概ね例年通りとなった。

<平均利用率 単位：％>

事業所名	事業名	R5	R4	事業所名	事業名	R5	R4
久喜けいわ	生活介護	98.1	97.5	コムロード	就労継続 B 型	79.9	79.7
	施設入所	99.4	99.3	いちょうの木	生活介護	90.8	93.3
	短期入所	95.2	102.3	のぞみ園	児童発達支援	62.5	63.9
	就労移行	56.1	97.2	ゆう・あい	生活介護	93.3	91.2
	就労継続 B 型	98.6	101.5	あゆみの郷	生活介護	96.2	93.9
GH 清久	共同生活援助	94.9	88.3		就労継続 B 型	95.7	101.9
	短期入所	49.0	73.8				

イ 電気、水道、ガスの光熱水費については、基本単価が下がるなどの各種助成により、昨年度と比較して法人全体で540万の支出減となった。

ウ 独立行政法人福祉医療機構の借入金については滞りなく償還した。借入残高は下表のとおり。

<借入金償還状況 単位：円>

借入年度 借入先	借入額	期首残高	令和5年度 償還金	借入残高
平成18年度 福祉医療機構 (就労継続)	25,000,000	5,240,000	元金 1,310,000 利子 87,115	3,930,000
平成27年度 福祉医療機構 (GH清久)	10,000,000	6,864,000	元金 576,000 利子 36,300	6,288,000
合計	35,000,000	12,104,000	1,886,000	10,218,000

### (3) 施設整備

ア 久喜けいわ旧棟建替えについては、基本プランの検討業務について設計事務所と契約を締結し、アスベスト調査を含め、建替え・改修に向けた中長期計画の作成に着手した。そのほか各所修繕等の主な整備状況は下表のとおり。

<各所修繕等主な整備状況 単位：円>

工事内容	工事費用
ワークセンター ガス給湯器設置	430,000
けいわ自立棟 トイレ改修	223,586
けいわ自立棟 受水槽修理	220,000
けいわ生活棟 エアコン修理	269,841
けいわ 消防設備改修	379,500
けいわ 正門横けやきの木剪定	400,000
あゆみの郷 給水ポンプ交換	440,000

### (4) 人材確保

ア 大卒者の確保に向けて現場職員を主体とした採用プロジェクトチームを結成し、学生を受け入れる体制を強化した。

イ 大学3年生を対象としたインターンシップ（1Day 仕事体験）を実施した。

ウ 大手人材・広告企業が主催する学生向けの「福祉・介護業界就職セミナー」に参加し、福祉職を希望する学生たちに向けてプレゼンを実施。来年度の新卒者確保に向けての足掛かりとした。

### (5) 人材育成

ア 研修委員会が中心となり、新任研修、中堅研修、主任主査研修、管理者研修など、階層別研修を中心とした内部研修を実施した。

イ 外部研修は、コロナ感染症の発生を契機にオンライン研修が増加し、参加が難しく

ったパート職員なども出席しやすい環境となった。

- ウ 資格取得支援制度および資格手当の創設により、資格に対する職員の意識が高まり、取得を目指す者が増加傾向となった。
- エ 職務点検活動においては、点検項目や着眼点等の見直しを行ったり、2次点検者を複数名にするなどして点検の精度を高めた。

#### (6) 法人本部機能の強化

- ア 次世代経営層の育成については昨年度より引き続き実施。社会保険労務士事務所が主催する研修会への幹部職員の参加を積極的に推し進め、労働法や労災保険、雇用保険のしくみなどについて学ぶ機会を増やした。
- イ ジョブローテーションを念頭に業務分掌の見直しを行ったが、本部機能や経理事務を滞りなく実施するため、一部のローテーションに留めた。
- ウ 税理士事務所と業務委託の契約を締結した。今後、税法や経理に対する担当職員の知識と、経理事務の正確性を高めることが期待できる。
- エ 虐待防止、身体拘束適正化、職員の衛生管理、感染症対策等については、各委員会において法令や基準の内容を確認し、議論を重ねながら全体化につなげた。

### 3. 全事業所共通事項

#### (1) 虐待防止への取り組み

- ア 虐待防止委員会を6回実施。各事業所の活動状況や課題の共有、虐待防止・権利擁護に関する意見交換、チェックリストを使ってのアンケートの実施と結果の振り返り、法人全体研修の企画・運営等を行った。
- イ 虐待防止推進部会を6回実施。虐待防止委員会の活動内容の共有と各事業所への情報伝達、部会員による事業所巡回の実施と結果の検証、事例研修などを行った。
- ウ 身体拘束適正化委員会を3回実施。身体拘束の適正化に向けた要綱と指針の作成、言葉の拘束（スピーチロック）についてのアンケートの実施と、その結果に基づいた研修を行った。
- エ 虐待防止に関する法人研修を7月に2回、1月に2回実施し、正職員、契約職員、パート職員が参加した。
- オ 虐待防止への体制強化を図るため、虐待防止委員会規程の見直しを目的とした検討委員会を設置。虐待防止委員会や虐待防止推進部会からの意見を吸い上げながら規程改正案を作成し、3月の理事会にて提案、承認を得た。

#### (2) 災害対策の充実強化

- ア 事業所ごとに自然災害発生時における事業継続計画（BCP）を作成した。災害時にも事業継続・早期復旧が行えるよう実用的な計画に見直していく。
- イ 地震・火災・水害を想定した避難訓練を実施した。今後はBCPに基づいた訓練・シミュレーションも実施する。

#### (3) 感染症対策

- ア 感染症には気をつけていたが、令和5年8月と令和6年2月に新型コロナウイルスの集団感染が発生した事業所があった。
- イ 感染症対策委員会を定期的開催し、指針の整備と事業所ごとに感染症発生時にお

ける事業継続計画（BCP）の見直しを行った。今後は BCP に基づいた訓練・シミュレーションも実施する。

#### （４）働きやすい職場作り

- ア 年次有給休暇の取得促進のため、各事業所の工夫により、5 日以上の取得と同時に連休を取得しやすい環境を整備した。
- イ 記録類の内容見直しと事務作業の計画的時間配分を行い、現場の事務作業にかかる負担軽減につなげた。
- ウ 昨年度に引き続き職員意向調査を実施。回答しやすいよう無記名方式で行ったところ具体的な意見を得ることができ、職員のモチベーション向上や適正箇所への異動などの参考とすることができた。
- エ 新任職員研修としてエルダー制度を導入。中堅職員は先輩として新任に向き合うことで自分自身を振り返る機会となり、新任職員にとっては身近な先輩職員に相談しやすい環境が整い、双方にとって良い効果が生まれた。
- オ 昨年度に引き続き職務点検活動において評価調整会議を実施。評価の精度は徐々に向上しているが、具体的事例の捉え方や評価基準の理解度などには課題があるため、評価者教育を引き続き行っていく。

#### （５）社会貢献事業の取り組み

- ア 地域貢献活動委員会を設置し貢献活動の具体案を検討。法人資源を地域に活用して頂くため、地元区長に機能訓練棟の貸し出しを提案し、67 区総会の開催場所として使用して頂いた。総会には、委員会メンバーが会場準備や案内などに協力しながら参加した。今後も引き続き、区長や近隣住民の方の意向を伺いながら社会貢献の取り組みを強化していく。
- イ 地域行事については、グループホーム清久が中心となって、地区の総会や運動会、自主防災訓練、季節行事などに参加した。地元婦人会については、職員と利用者の数名もメンバーとなっており、地域清掃を一緒に行ったり、ふれあいの家しらはたを、毎月婦人会の活動場所として活用して頂いている。

#### （６）広報活動の充実

- ア 法人ホームページを更新し、必要な情報公開、情報発信を行った。もっと見やすいホームページにするようリニューアルを検討している。
- イ 各事業所の取り組みを定期的にインスタグラム・フェイスブックにアップし、登録者も増えて一定の反響があった。SNS は若い世代に法人をアピールする一つの手段になるので、うまく運用していきたい。